

作成日 2013年12月25日
改訂日 2023年12月1日

安全データシート (safety data sheet)

1. 製品および会社情報

製品の名称	スマレイ
会社名	谷口商会株式会社
住所	岡山県岡山市南区藤田 338-31
電話番号	086-296-5906
FAX 番号	086-296-6507
メールアドレス	info@taniguti.co.jp
推奨用途	水面に漏れた油等の拡散防止及び吸着回収

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	該当なし
健康に対する有害性	該当なし
環境に対する有害性	該当なし
GHSラベル要素	なし
注意喚起語	なし
危険有害性情報	なし

注意書き

【安全対策】

防塵マスク、保護眼鏡、保護衣、保護手袋を着用すること。(P280)

【保管】

換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。(P403+P235)

一容器あたりの保管量は0.45m³(450ℓ)以下とすること。

大量に保管する場合、容器またはパレット間に隙間を空けること。

3. 組成および成分情報

単一製品・混合物の区別	単一製品			
化学名又は一般名	炭素 (植物から製造された粒状の炭素)			
	CAS 番号	含有率(%)	安衛法政令番号	PRTR
炭素	7440-44-0	88%以上		—
不純物及び安定化添加物	不純物として灰分(カリウム、カルシウム等)、水分を含む。			

4. 応急措置 (包布からこぼれた吸着材について)

吸引した場合	粉塵を多量に吸入した時は、直ちに空気の新鮮な場所に移動させ、呼吸に異常がある場合には、直ちに医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	直ちに大量の水で洗い流す。
眼に入った場合	直ちに大量の流水で15分間洗い流し、医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合	水でうがいをし、口の中をよく洗浄する。

5. 火災時の措置

消火剤	水噴霧（ただし棒状水は火の粉を飛散させる恐れがあるので注意する）、ドライケミカル、二酸化炭素
使ってはいけない消火剤	データなし。但 吸着させた液体の性質によっては制限を受けうる。
特有の消火方法	特になし
消火を行う者の保護	燃焼時に一酸化炭素を発生する事があるので、消火作業時には必ず自吸式呼吸器を着用する。

6. 漏出時の措置（包布からこぼれた吸着材について）

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置	全ての発火ソースを閉止する。 粉塵を生じさせないように清掃し、廃棄用袋に回収する。
環境に対する注意事項	特になし
封じ込め及び浄化の方法及び機材	特になし

7. 取扱いおよび保管上の注意

取扱い	油などを吸着した後は、液だれに注意しつつ、日が当たる場所、高温になる場所、可燃物のそばに放置せず、冷暗所に置きできるだけ速やかに廃棄する。
保管	水濡れに注意し、火気および発火性物質から離れた屋内に保管する。 120℃以上の環境で保管すると着火の恐れがある。 自己発熱防止のため、一容器あたりの保管量は 0.45m ³ (450ℓ)以下とする。 10t 以上を保管する場合、消防法により指定可燃物の扱いになるため、取扱いは市町村条例に定める基準に従う。

8. 暴露防止および保護措置

管理濃度（労働安全衛生基法第 65 条の規定に基づく作業環境評価基準）	粉塵の管理濃度	3 mg/m ³
許容濃度（日本産業衛生学会 許容濃度等の勧告 2016 年度）	第 3 種粉塵（その他の有機粉塵） 総粉塵	8 mg/m ³
	吸入性粉塵	2 mg/m ³
設備対策	粉塵則に従い局部排気装置、除塵器を設置する。	
呼吸器の保護具	防塵マスクを着用する。	
手の保護具	保護手袋を着用する。	
目の保護具	防塵眼鏡を着用する。	
皮膚及び身体の保護具	皮膚の露出しない長袖作業衣を着用する。	

9. 物理的および化学的性質

物理的状態	黒色粒状、無臭。油分や油臭気を吸着する力が強い。
密度	0.10~0.18 g/cm ³ （かさ密度）
溶媒に対する溶解性	水、有機溶剤に不溶
自然発火性	国連勧告に基づく試験の結果、本品は可燃性物質類、自然発火性物質には該当しない。（危険性評価証明書あり）
自己発熱性	国連勧告に基づく試験の結果、単位包装あたり体積が 0.45m ³ 以下では自己発熱性物質（クラス 4.2）に該当しない。（危険性評価証明書あり）

1 0. 安定性および反応性

安定性	上記 7. 取扱いおよび保管上の注意 に則った状態で安定である。
危険有害反応可能性	データなし
避けるべき条件	データなし
混触危険物質	データなし
危険有害な分解生成物	燃焼すると一酸化炭素を発生することがある。

1 1. 有害性情報

急性毒性	
経口	分類できない
経皮	分類できない
吸入：ガス	分類対象外
吸入：蒸気	分類対象外
吸入：粉塵及びミスト	分類できない
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	分類できない
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
特定標的臓器毒性(単回暴露)	分類できない
特定標的臓器毒性(反復暴露)	分類できない
吸引性呼吸器有害性	分類できない

1 2. 環境影響情報

生体影響についてはデータなし

1 3. 廃棄上の注意

事業者が油等の液体を吸着させた使用後の本品を廃棄する場合、都道府県の許可を得た産業廃棄物処理業者に処理を委託すること。(使用後の本品がいかなる産業廃棄物に分類されるかは、当該事務所の所在地である都道府県ごとに解釈されている。)

1 4. 輸送上の注意

国連分類	該当しない
国連番号	該当しない
国内規制	
海上規制情報	非危険物 (各船舶会社により受託基準あり)
航空規制情報	非危険物 (各航空会社により受託基準あり)
陸上規制情報	消防法、道路法に従う
特別の安全対策	輸送に関しては、直射日光を避け、水濡れ、荷崩れがないよう丁寧に取り扱う。

必要に応じ、国連勧告に基づく「クラス 4.2 自然発火性物質および自己発熱性の危険性を有していない」危険性評価証明書を提出します。

15. 適用法令

労働安全衛生法
消防法

粉じん障害防止規則（屋内で使用の場合）
10t 以上を保管する場合、消防法により指定可燃物の扱いになるため、取扱いは市町村条例に定める基準に従う。

16. その他の情報

引用文献等

JIS Z 7253 (2019)
NITE：独立行政法人 製品評価技術基盤機構 NITE-CHRIP
経済産業省 事業者向け GHS 分類ガイダンス